

【1】大学の教育研究上の目的

(4) 各学部・学科の教育研究上の目的

表現学部

言語や造形など、人間の表現活動や文化的事象について多角的に学びます。読む力・観る力をつける訓練やフィールドワーク・創作実践による鍛錬をとおして、他者の表現を理解して受けとめる力を身につけ、さらには自分の表現を社会に向かって開き、新しい時代の文化の創造に参画できる人間を育てます。

総合文化学科（表現学部）

言語表現を中心に、文学・演劇・映像・音楽・神話など人類が創造してきた文化について、基礎的な知識を身につけ、深く受けとめる方法を学び、実践的に探究する能力を育てます。さまざまな地域（日本、アメリカ・イギリス・ドイツ、中国などアジアの国々）における多様な領域（古典文学や現代のサブカルチャーなど）から、自らのテーマを発見して追究することによって、複眼的な思考力を養い、新しい文化を生み出す人間を育てます。

芸術学科（表現学部）

芸術学科では、絵画、彫刻、映像、グラフィック・デザイン、プロダクト・デザインなどの制作にかかわる基礎的かつ多様な実技演習を行っています。なお、コンピュータは主として情報収集や作品制作のためのツールとして利用しています。こうした実技演習を通して、美術史や近現代デザインの領域を十分に踏まえた鑑賞力、および物事を多角的に捉え、整理、発信できる編集力を培います。実技と鑑賞を並行して修練していくなかで、制作実践への広い視野を習得し、現代の表現活動にかかわる豊かな教養をもった人間を育てます。